

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成27年度第1回定例会 要点記録

日時 平成27年7月1日(水) 午後2時～

場所 国分寺市立教育センター 教育資料室 (ひかりプラザ5階)

出席者

委員 門委員・長谷部委員・橋本委員・萩原委員・田中(英)委員・戸澤委員・
佐藤委員・大澤委員・北邑委員・田中(雅)委員(欠席1名)

教育委員会 松井教育長

職員 小山社会教育担当部長・山崎公民館課長兼本多公民館長・野中恋ヶ窪公民館長・加藤光公民館長・豊泉もとまち公民館長・木場並木公民館長・秋元本多公民館事業係長

《委嘱状伝達式》

1. 委嘱状伝達

教育長より委員へ委嘱状の伝達

2. 委員自己紹介

委員の自己紹介

3. 正副委員長選出

委員長 佐藤委員

副委員長 田中(英)委員

《第1回定例会》

1. 教育長あいさつ

国分寺市の公民館は、昭和38年に設置され、歴史もあり、活動は全国的に注目され、特色ある活動をしてきました。これからも国分寺市の公民館の特徴を、何か新しいものを出していかなければならないと考えます。市民が一人でも多く公民館に通い、利用していただく、学んでいただく、そういう公民館にしていきたい。4月からスタートした教育ビジョンのコンセプトは「学びが循環するまちの実現を目指して」となっています。この「学びが循環する」ということは、学校で学びが終わるのではなく、学校は学びのスタートであり、それからの学びの人生は長く、どこかで学んだことがまた学校にかえっていくような循環するまちということです。公民館から発信したことが次代につながる、公民館は重要な役割を持つと思っています。2年間よろしくお願いします。

2. 連絡事項

(1) 職員紹介

小山社会教育担当部長以下自己紹介

(2) 配布資料確認

資料1から資料8及びその他を確認

3. 報告事項

(1) 平成27年度公民館事業について

各公民館長から事業内容と公民館事業体系の10項目の分野について説明。

委員：独立館だった時と中央館になって、事業が変わったことは何か。

教育長：現在も独立館方式で事業に取り組んでいる。公民館運営審議会は一本化したがるが、本多公民館を中央館として位置づけするようなことはしていない。

4. 協議事項

(1) 今後の審議会について

事務局：今後、審議会で公民館の事業のあり方や地域の拠点となる公民館の役割について審議していただくことになる。現在の公民館の様子や、委員が考えていることなどを話していただければと思う。

委員長：まず公民館利用者委員の方から発言していただいてよろしいか。

委員：本多公民館では、公民館と公民館運営サポート会議が共催で「地域会議」を実施している。6月に第1回目を実施し2か月に1回程度開催している。当初は学校が週5日制となり公民館で何ができるかを検討したことから始まった。地域の課題について、地域の団体が集まり話し合いを持ち、事業も行っている。また、異世代交流事業で10種の事業を行い、くぬぎ教室も行っている。規模が市内で一番大きいので、地域の方も関わっているが、部屋を借りられれば良いという市民もいるのは事実である。

委員：光公民館の特徴は、外国人が日本語を学ぶ講座がある。公民館祭りでは、地域と学校・自治会などが一緒に、会場も学校の体育館を借りて行い、地域と良い連携ができています。昨年、5館の利用者が共通で何かできないか検討し、音楽コンサートを11月に実施した。各公民館から25グループが参加し、大盛況であった。今年度も実施することになっている。5館で共通に実施すれば、参加人数も変わってくるのではないかと。

委員：もとまち公民館は、公民館と自主グループが共催で行う事業が活発な地域で、「蛍よもう一度」や「地域で平和を考える集い」「教育を考える会」などがある。「地域会議」もあり、世話人を中心にもとまちの地域をもっと知ってもらおうと2006年から開催している。1つの柱が情報交換で、共通する課題がでたら一緒に考えていくことも行っている。会議だけではなく、初めに「故郷と思えるもとまち」というテーマで史跡めぐりを実施し、並行して今回で第8回となるファミリー運動会を実施した。参加者は290人で、社会教育を学ぶ東京学芸大学の学生34人と東京経済大学の学生9人の参加があった。利用率は5館で一番低い。第四小学校や第四中学校の生徒を含めた方々にも公民館にきてもらうことが課題である。

委員：3年間並木公民館に通った感想は、周りに畑が多いこと。農業体験講座に参加している。先日公民館祭りがあり、どのグループも会員が高齢化しており、新しい方に参加してもらうことが課題という話があった。各グループは活況であり、私たちのグループは野菜を売って大盛況であった。子ども

も農業体験講座も実施しており、街でその体験者から声をかけられたことがあり嬉しかった。公民館の良さを知る方が一人でも増えればよいと思う。

委員長：他の委員の方からの話題提供や何か質問・意見がある方はいますか。

委員：5館ごとに特色があり、いろいろ考えて事業を実施していることがよくわかった。グループの高齢化が各館共通した課題で、新しい人たちを取り込むための事業を工夫している段階であり、各独立館の特色を残しつつ、共通した事業にも取り組んでいくため工夫をいかにするかが課題であると思う。

委員：単独で事業を実施するのが地区独立館である。

委員：市民であれば、どこの公民館の事業でも参加できる。

委員：事業を実施するにあたり、市民にいかに広めるかが課題である。

委員：住んでいる地域の公民館が参加できるエリアと思い込んでいるふしがある。

委員：子どもの問題として、「幼い子いる親のため教室」に参加して、現在のネットワークをつくってきた。開催回数が減っているのが心配である。子どもを通して地域とのつながりができるので、大切な事業だと思う。

委員：東村山市に住んでおり、公民館の予約はインターネットでできる。働いている方の施設申込みが便利であるため、国分寺市でも対応できればと思う。

委員：教育ビジョンの「学びが循環する」というコンセプトはとても大事なキーワードだと思う。各自治体に「教育振興計画」があり、子どもの文言はあるが、ほとんどが学校教育でとらえられている。国分寺市は「豊かな心」や「健やかな体」など、社会教育として子どもや家庭に対し取り組んでいけることがある。公民館が中心となり、大人や子どもの学びを循環させることが大切になっていくと思う。子どもがどう育つかを考えていくと、まちづくりにもつながっていく。

教育長：公民館では地域のためにいろいろな事業を行っている。本多と恋ヶ窪公民館では、子どもたちのために学習支援に取り組んでいる。

委員長：5館それぞれが市民の参加が活発で、地区並列館方式による事業の取り組みを行っている様子がよくわかった。利用者層や視点の問題、5館の事業がどの程度市民に浸透しているかなどの課題もある。教育ビジョンで公民館も位置づけられており、今後審議会に反映させながら進めていきたい。

(2) 東京都公民館連絡協議会派遣委員の選出について

事務局：東京都公民館連絡協議会規約第7条第4項に基づき、委員部会に出席いただく委員の選出をお願いする。

東京都公民館連絡協議会委員部会派遣委員 長谷部委員

(3) 管内研修・管外研修について

事務局：今年度定例会8回、管内研修1回、管外研修1回予定している。管内研修は、今回市内で一つの公民館運営審議会が発足したこともあり、「公民館」「公民館運営審議会の役割」について、田中雅文委員に講師をお願いしたい。管外研修は、社会教育施設で特徴的な活動を行っている小金井市貫井北公民館、小平市仲町テラス、武蔵野プレイスなど施設の視察を考えている。

委員長：管内研修を次回に開催するのでよろしいか。(全員賛成)では、第2回の定例会で管内研修をお願いしたい。

事務局：8月25日(火)午後1時～2時30分まで研修、その後3時から4時30分まで第2回定例会を行う。

委員：管内研修に公民館運営サポート会議の委員の参加をお願いできないか。

事務局：各館に公民館運営サポート会議を設置しており、その委員にも研修の場を提供することが必要であるとの意見がある。公民館としても、研修は非常に重要であると考えているので、委員の了解が得られればお願いしたい。

委員長：講座室の定員は大丈夫でしょうか。

事務局：公民館運営サポート会議の委員は任意の参加となるので、対応できる。

委員長：田中委員には、公民館全体のこと、今までの国分寺市の公民館での経験を踏まえての話題の提供をしていただきたい。管外研修の時期はいつ実施するべきかご意見をいただきたい。

委員：武蔵野プレイスは、教育委員会が所管し、公営財団法人が指定管理で受けている施設で、図書館と青少年施設と市民活動フロアーとの複合施設。ユニークなのは市民活動推進課がスペースを持っているのではなくて、市民活動の場所が3階にあり、公民館とは質が違うが、教育委員会所管で行っている。大規模で年間運営費6億円、入場者が100万人を超えている。館内どこでも本が読める。小平市仲町テラスは、図書館と公民館の複合施設で、瀬島和代さんという日本女子大出身の建築家が設計し、小平市に10か所ある分館の1つ。小金井市貫井北分館は、武蔵小金井駅から歩いていける距離にあり、パーティションで仕切り、自由に部屋の大きさを選べる施設である。

委員長：実施時期を今決めないといけないのでしょうか。

事務局：管外研修は、まだ先でよろしいのではないかと思う。

委員長：次回までに各委員の希望を聞きながら決めたいと考える。第3回の定例会はこれから決めることでよろしいか。事務局と調整し決めていく。

5. その他

委員：今まで各館の公民館運営審議会の正・副委員長が集まる五館連絡会があったが、今後はどうなるのか。

委員：公民館運営サポート会議の委員から要望があれば検討していくのでは。

事務局：公民館運営サポート会議の中で、整理をしていく。

委員：当日資料を配布するのではなく、事前に資料を見たいが対応は可能か。

事務局：今回は第1回目ということで、先週に教育委員会で委員委嘱が承認されたため、事前配布ができなかった。今後は、メール等でできるだけ事前配布をするようにしたい。

事務局：関東甲信越静公民館連絡協議会会則に基づき、今年度公民館大会を東京都が主催する。平成27年11月14日(木)に大会が実施される。委員の参加をお願いしたい。

委員長：第1回定例会を終了する。